



水生生物ウォッチング

活動のねらい

- 琵琶湖岸で水生生物を観察することで、琵琶湖周辺の生き物と水との関わりについて考える。

【時 期】 通年

【場 所】 今津・近江舞子・琵琶湖大橋港

【時 間】 30分～40分

【準備物】 ●ザル ●バット ●ルーペ
●図解ハンドブック（滋賀の水生動物）
●箱めがね

主な活動の流れ

事前学習

- 地域の河川（用水路等）の水生生物について学校で観察をし、水質（濁り、色、臭い等）と水生生物の関係について学習する。

湖岸にはどんな水生生物がいるのだろうか？

フローティングスクール

- ① 寄港地で各班1セット、観察用具を持ち、下船する。
※水辺の活動となるので、安全管理に十分留意する。
- ② 水辺でザルを使い、水生生物の採取をする。
※砂をザルですくい、水生生物をこしとるようにして採取する。
※大きな石はザルを使わず、手で拾い上げ、裏を観察する。
- ③ 採れた水生生物をバットに入れ、ルーペ・ハンドブックを使って種類や名前を調べる。
- ④ それぞれ観察した水生生物をワークシートに記入する。

事後学習

- 水生生物の種類と水の濁り、色、臭い等の関係について考える。
- 地域の水生生物や琵琶湖の水生生物を調べることにより、生き物と水を取り巻く環境とのつながりについて考える。

参考資料

※近江舞子港停泊時は「トレックステーション舞子ハット」（問い合わせ先：TEL077-596-8190）を利用した活動（ヨシ原の水生生物観察、地学系学習）もできる。